

北網地域リハビリテーション推進会議活動報告

平成 21 年 2 月 22 日

北網地域リハビリテーション推進会議 事務局

北星脳神経外科病院 言語聴覚士 山崎 和大

目標：たとえ障害があっても、生き生き楽しく暮らせる街をみんなでつくる

活動
1. 理事会・総会
2. 講師派遣事業(講師バンク)
3. 地域での研修会の共催・後援
4. 地域医療・介護における実態把握と課題分析
5. 地域医療・介護のネットワークづくり
<p>< 中核事業 > ←</p> <p>医療と介護をよくするまちづくり的活動</p> <p>オホーツクの医療・介護ネットワークづくり本音ミーティング開催(北網管内全域)</p> <p>の開催を踏まえて展開される管内三地域(北見・網走・美幌)の活動を支援</p>

平成 20 年度理事会・総会で、「オホーツクの医療・介護ネットワークづくり本音ミーティング」の開催及びその後の活動(ネットワーク作りを通じて「地域をリハビリ」していく活動)を事業の中核とすることが承認された。

(オホーツク脳卒中地域連携パスの作成・運用等により、平成 19 年度から病院間連携の構築に着手していた「オホーツク脳卒中研究会」と協働で推進してゆく方針が承認)

「病院間連携の構築」から「医療(急性期・回復期)と介護(維持期)の連携構築」へ移行するにあたり、オホーツク脳卒中研究会と北網地域リハ推進会議の協働が必要となる

事務局としての活動

事務局病院リハ科スタッフ 3 名と北見保健所作業療法士、協力者として協力病院の MSW2 名で活動

- ・ メールによる密なコミュニケーション
- ・ 推進会議事務局打ち合わせ会の実施
- ・ 各地域のタウンミーティング、運営委員会に参加

(黒子役としての後方支援と全体の管理)

医療と介護をよくするまちづくり的活動の経過	
時期	活動内容
2008 年 6 月	理事会・総会で事業承認
2008 年 10 月	オホーツク脳卒中研究会と地域リハ推進会議共催研修 「オホーツク医療と介護ネットワークづくり本音ミーティング」開催
2008 年 11 月	管内三地域(北見・美幌・網走)それぞれでタウンミーティング開催
2008 年 12 月	管内三地域で地域タウンミーティング運営委員会事務局 設立
2009 年 3 月	病院から在宅の流れを考えるリレー式PR大会開催(予定)

オホーツクの医療と介護ネットワーク本音ミーティング

平成 20 年 10 月 18 日開催(オホーツク脳卒中研究会・北網地域リハビリテーション推進会議共催)

北網の医療と介護関係者 110 名が参加、まちづくりの地域リハ活動を推進する逢坂悟郎先生を招聘(西播磨リハセンターリハ科医長)

「自分の家族が脳卒中になったら」をテーマにグループワークを実施、急性期、回復期など、病院に対する不満や地域の課題が噴出。

各地域でのタウンミーティング、運営委員会の設立へ発展

北網三地域(北見・網走・美幌)のタウンミーティング

タウンミーティングでの課題総括

1. 相談窓口の明確化
2. 連携推進のための情報公開
3. 医療依存度の高い患者の在宅サービス受け入れ

課題 1 ~ 2 の解決に向けた取り組みの推進により、3 の課題を解決する戦略を委員会で選択

病院から在宅の流れを考えるリレー式PR大会の開催を決定

活動のまとめ

何をやるか	互いの情報を本音で公開 上手くできていること・困っていること
誰とやるか	在宅などの維持期メンバーとスクラム 機会をみて病院・開業医へアプローチ
どうやるか	良い取り組みは事業所の良い評判となり、真似をする事業所の増加で地域の連携強化、住み易い「まち」へ発展